



第43回 愛媛形成外科研修会

抄録集

日 時 令和元年6月22日(土) 17時00分～
場 所 四国がんセンター
本館3階 研修室
愛媛県松山市南梅本町甲160番
TEL: 089-999-1111

当番世話人

四国がんセンター 形成外科 河村 進

第43回 愛媛形成外科研修会

研修会について

1. 参加受付は、16時30分より会場で行います。
2. 参加費として2,000円を受付にて申し受けます。
今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。
「領域講習」として受講される専門医の方は受講料として1,000円を申し受けます。
3. 演者でまだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。
4. 一般演題での発表時間は、一題あたり5分と3分、質疑応答は3分を予定しています。
日本乳癌オンコプラスチックサージャリー学会 最優秀論文賞 受賞報告を10分
予定しています。
5. PCはWindows10、PowerPoint2016を使用しての発表になります。
(当日は、USBメモリーあるいはPC本体をお持ちください。)

会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 1 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成 10 年 7 月 4 日	15 名
第 2 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成 10 年 12 月 5 日	17 名
第 3 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成 11 年 6 月 19 日	20 名
第 4 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 11 年 11 月 27 日	19 名
第 5 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 6 月 24 日	17 名
第 6 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 12 月 9 日	20 名
第 7 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 6 月 23 日	23 名
第 8 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 12 月 8 日	23 名
第 9 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 6 月 8 日	27 名
第 10 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 12 月 14 日	27 名
第 11 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 6 月 28 日	25 名
第 12 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 12 月 13 日	25 名
第 13 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 6 月 26 日	26 名
第 14 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 12 月 4 日	29 名
第 15 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 6 月 18 日	31 名
第 16 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 12 月 10 日	35 名
第 17 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 6 月 24 日	31 名
第 18 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 12 月 9 日	26 名
第 19 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 6 月 16 日	37 名
第 20 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 12 月 15 日	30 名
第 21 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 6 月 14 日	30 名
第 22 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 12 月 6 日	30 名
第 23 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 6 月 27 日	32 名

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 24 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 12 月 12 日	28 名
第 25 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 6 月 19 日	34 名
第 26 回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 12 月 11 日	30 名
第 27 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 6 月 18 日	31 名
第 28 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 11 月 26 日	25 名
第 29 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4 階 末広	平成 24 年 6 月 23 日	34 名
第 30 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 24 年 12 月 1 日	26 名
第 31 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 25 年 6 月 22 日	36 名
第 32 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2 階 楓の間	平成 25 年 11 月 30 日	30 名
第 33 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 26 年 6 月 21 日	32 名
第 34 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カンファレンス会議室	平成 26 年 11 月 29 日	32 名
第 35 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 27 年 6 月 27 日	36 名
第 36 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 27 年 11 月 21 日	27 名
第 37 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階多目的ホール	平成 28 年 6 月 11 日	32 名
第 38 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 28 年 12 月 10 日	30 名
第 39 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3 階中会議室①②	平成 29 年 6 月 24 日	36 名
第 40 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館 3 階研修室	平成 29 年 12 月 9 日	32 名
第 41 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	平成 30 年 6 月 9 日	27 名
第 42 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 30 年 12 月 1 日	28 名
第 43 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和元年 6 月 22 日	

四国がんセンターへのアクセス



愛媛県松山市南梅本町甲 160 番 TEL : 089-999-1111 (代)

プ ロ グ ラ ム

Section I (17:00~17:40)

座長：四国がんセンター 中山 盛皓 先生

1. 側爪郭肥厚を伴った陥入爪に対する側爪郭削除 (3分)
松山市民病院 形成外科 村上 達郎 他
2. 大伏在静脈採取部の感染により下腿切断となった1例 (5分)
住友別子病院 形成外科 安井 史明
3. 再発を繰り返した仙尾部滑液包炎に対して硬化療法が奏効した一例 (5分)
愛媛県立中央病院 形成外科 土居 未歩
4. 当科における乳児血管腫に対するプロプラノロール内服療法の検討 (3分)
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 泉本 真美子 他
5. 種々の先天異常に両側唇顎口蓋裂と絞扼輪を合併した1例 (5分)
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 木村 千寿 他

Section II (17:40~18:25)

座長：四国がんセンター 山下 昌宏 先生

6. 難治の坐骨部褥瘡から SCC を発生した1例 (5分)
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 松満 紗代子 他
7. 悪性黒色腫にニボルマブが著効した一例 (5分)
四国がんセンター 形成外科 中山 盛皓 他
8. ニボルマブの副作用として横紋筋融解症と顔面神経麻痺を呈した1例 (5分)
松山赤十字病院 形成外科 中川 舞 他
9. 術後骨盤内リンパ節転移した乳房外 Paget 病の1例 (5分)
徳島県立中央病院 形成外科 岡部 寛 他
10. 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 最優秀論文賞 受賞報告 (10分)
綱島会 厚生病院 綱島 千春 他

総会 (18:25~18:35)

休憩 (10分)

特別講演 (18:45~19:45)

座長：四国がんセンター 河村 進 先生

「リンパ浮腫の形成外科治療」

講師：愛知医科大学 形成外科 教授 古川 洋志 先生

共催： 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:40)

座長：四国がんセンター 中山 盛皓 先生

1. 側爪郭肥厚を伴った陥入爪に対する側爪郭削除

松山市民病院 形成外科

○村上 達郎、手塚 敬、上村 由美子

(3分)

肉芽を伴い側爪郭の肥厚している陥入爪症例に対し、部分抜爪に加え肉芽を含めて側爪郭を削除する方法を行った。これだけでも治癒する症例がみられたので報告する。

2. 大伏在静脈採取部の感染により下腿切断となった1例

住友別子病院 形成外科

○安井 史明

(5分)

症例は 69 歳の男性。前医にて CABG を施行され、両下腿から大伏在静脈を採取された。もともと末梢動脈疾患を持っていたためか、右下腿で術後感染・壊死を生じ、下腿切断へ至った。しかし断端の創離開・治癒遷延あり、当科紹介受診・転院となった。治療に難渋しており、報告させていただく。

3. 再発を繰り返した仙尾部滑液包炎に対して硬化療法が奏効した一例

愛媛県立中央病院 形成外科

○土居 未歩

(5 分)

滑液包炎とは滑液包に機械的刺激や炎症が起こり、液体が貯留した状態であり、主に四肢に好発するが、仙尾部から発生する滑液包炎は比較的まれである。今回、仙尾部に発生した再発を繰り返す難治性の滑液包炎に対して硬化療法が奏効した一例を経験したため若干の文献的考察を加え報告する。

4. 当科における乳児血管腫に対するプロプラノロール内服療法の検討

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○泉本 真美子、村上 達郎（松山市民病院）、戸澤 麻美、木村 千寿、松満 紗代子、

松本 麻由、森 秀樹、中岡 啓喜

(3 分)

2017 年 6 月より 2019 年 5 月までに当科を受診し、乳児血管腫を認めプロプラノロール内服療法を行った 18 例を対象に投与期間や効果、副作用の有無、副作用に伴う減量・中止などについて検討した。代表症例を供覧する。

5. 種々の先天異常に両側唇顎口蓋裂と絞扼輪を合併した 1 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○木村 千寿

(5 分)

生後 6 日男児。胎児エコーで小脳虫部欠損を疑われ、在胎 33 週 5 日、1969 g、AS8/9 で出生した。出生時より先天性心疾患、脳瘤、両側唇顎口蓋裂、絞扼輪など多数の合併疾患を認めた。心疾患手術のため生後 5 日目に当院小児科に転院となり、当科では生後 2 か月時に右下腿と右示指の絞扼輪手術、生後 6 か月時に口唇形成手術と絞扼輪手術（2 回目）を施行した。文献的考察を交えて報告する。

Section II (17:40~18:25)

座長：四国がんセンター 山下 昌宏 先生

6. 難治の坐骨部褥瘡から SCC を発生した 1 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○松満 紗代子、松本 麻由、森 秀樹、泉本 真美子、木村 千寿、戸澤 麻美、中岡 啓喜
(5 分)

50 歳男性。22 歳時に頸髄損傷受傷し C7 以下の対麻痺となった。10 年以上前から左坐骨部褥瘡を認め、難治のため当科紹介となった。骨髄炎を合併した褥瘡として初回手術でデブリードマンのみ行った。切除標本を病理組織検査に提出したところ有棘細胞癌の診断であった。病変の完全切除は困難であり、鼠径リンパ節や両肺への転移の可能性もあった。今後の治療方針についてご意見をいただきたい。

7. 悪性黒色腫にニボルマブが著効した一例

四国がんセンター 形成外科

○中山 盛皓、河村 進、山下 昌宏
(5 分)

86 歳男性。右後頭部皮下腫瘍を主訴に前医を受診、CT と MRI にて皮下の多房性慢性血腫の診断で経過観察していた。腫瘍の増大あり、当院紹介受診。生検を行い、悪性黒色腫と診断された。PET-CT 検査で 7cm 大の右後頭部皮下腫瘍があり、多発全身転移も認めた。治療はニボルマブで著効した。若干の文献的考察を加え報告する。

8. ニボルマブの副作用として横紋筋融解症と顔面神経麻痺を呈した 1 例

松山赤十字病院 形成外科

○中川 舞、庄野 佳孝

(5 分)

ニボルマブを含めた免疫チェックポイント阻害薬の免疫関連有害事象の中で神経・筋障害は多彩であるが、その出現率は 0.12~0.15%程度と少ない。我々は最近、悪性黒色腫に対してニボルマブ投与後に横紋筋融解症と顔面神経麻痺を呈した 70 歳男性の 1 例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

9. 術後骨盤内リンパ節転移した乳房外 Paget 病の 1 例

徳島県立中央病院 形成外科

○岡部 寛、瀬渡 洋道

(5 分)

今回我々は、乳房外 Paget 病のリンパ節転移を来した症例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。症例は 81 歳女性。腫瘍切除及び植皮術を施行したが、術後 1 年半で左鼠径部・左外腸骨領域にリンパ節転移を認めた。

10. 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 最優秀論文賞 受賞報告

綱島会 厚生病院¹⁾、四国がんセンター²⁾

○綱島 千春¹⁾、河村 進²⁾、山下 昌宏²⁾、中山 盛皓²⁾

(10 分)

昨年、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会にて下記論文について 2017 年度最優秀論文賞を受賞しました。Oncoplastic Breast surgery 第 2 巻 3 号掲載

『人工物を用いた乳房再建後感染症例への対応 ―人工物を抜去しない救済処置で感染制御は可能か―』 論文内容を含めて受賞報告をさせていただきます。

総 会 (18:25~18:35)

1. 次回研修会の日程

2. その他

休 憩 (18:35~18:45)

特別講演 (18:45~19:45)

座長：四国がんセンター 河村 進先生

「リンパ浮腫の形成外科治療」

講師：愛知医科大学 形成外科 教授 古川 洋志 先生

リンパ浮腫の治療には、近年蛍光リンパ管造影所見やリンパシンチグラフィーによる重症度に応じた、外科治療と保存的治療の併用が広まりつつある。外科治療には LVA、リンパ節移植、脂肪吸引術などがある。エビデンスが蓄積されつつあり、かつ低侵襲という点で当面の間は外科治療の主軸となる LVA について発表する。

略 歴

【現職】

愛知医科大学 教授

【学歴・職歴】

1991年3月25日 北海道大学医学部医学科卒業

1991年4月1日～ 北大病院、旭川厚生病院、函館中央病院、北見赤十字病院、
形成外科メモリアル病院で、形成外科研修

1998年4月1日 日本形成外科学会認定医取得

2001年3月23日 北海道大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士学位取得（北海道大学）

2001年4月1日 市立函館病院形成外科 科長

2003年5月5日 米国 Texas 大学 M.D.Anderson 癌センター ポスドク

2004年11月1日 北海道大学医学部附属病院形成外科 医員

2006年4月1日 北海道大学大学院医学研究科 助手

2007年4月1日 北海道大学大学院医学研究科 助教

2008年7月1日 北海道大学大学院医学研究科 講師

2014年10月1日 北海道大学大学院医学研究科 准教授

2018年4月1日 愛知医科大学 特任教授

2019年4月1日 愛知医科大学 教授